

2025 年 1 月 1 日

人物、映画、百名山

心に残る ひとびと やまやま

色鉛筆画と文章で描き記す

KGG Takao Ikarashi

「色鉛筆画」よ　ありがとう

60 歳から色鉛筆画をはじめた。犬の散歩中に撮った粟ヶ岳、弥彦山、市庁舎、文化会館、加茂高校の天文台、加茂川の河川敷、石川公園、ゆりのき通りなど、身近な風景写真を極細のペンでスケッチブックに写した。三菱鉛筆が創業 100 年記念に限定発売した 240 色の色鉛筆から丹念に選んで下絵に着色した。身近な風景から、徐々に NHK が放送する「あの人に会いたい」や国内外のドラマの俳優が画題となり、深田久弥の「日本百名山」をもとにした DVD から気に入った映像をスケッチブックに写して、色鉛筆画を作成した。

10 年程前から、加茂市医師会報の裏表紙に、B5 の大きさに色鉛筆画に文章を添えて投稿するようになった。最初の 5 年間分を 2018 年にまとめて小冊子を作成した。その後の 5 年間分と前回載せなかった分を今回まとめて冊子にした。2020 年以降は、コロナ禍で絵を描く余裕がなくなり、映像写真をそのまま掲載するようになった。それらの写真と文章は、主に「科学の話題」が中心となっているので、別個のテーマ毎に小冊子を作成している。今は小学生・幼稚園の孫たちが、内容を理解できるようになったら、これを読んでくれることを願っている。

写真に撮った映像をスケッチブックに写しとり、それに色鉛筆で着色するという「色鉛筆画」を 10 年程熱中して続けた。映像を克明に写し取り、それに着色する過程で、ときどき絵の中に吸い込まれる感覚を感じることもあった。写生であるので、創作ではないが、被写体の中に入り込む感覚を味わうことができた。

2025 年 3 月で後期高齢者の仲間入りである。70 歳の壁があると聞いていたが、74 歳から膝の痛みで歩行が制限される日が多くなった。スポーツの趣味がないので、散歩が唯一の運動であるが、近頃は室内トレッドミルで代用している。1 日 15 分から 20 分程、時速 3 km 前後、好きな歌手の曲を聴いて歩いている。しかし、2 週間ほど続けると右膝関節内側が痛くなるのである。室内歩行を止めると 2、3 日で痛みは軽快するが、そのまま半月程も歩かなくなるのである。高齢者を多く診ている医師から「減量するといいですよ」と指摘された。「減量するために歩いているのだ」と内心ムツとしたが、やはり減量しなければと反省する。今までできたことができなくなる。今まで簡単に出来たことがなかなかできなくなる。これを老化というのだろうか。来年 3 月で後期高齢者となるので、今まで描いてきた「色鉛筆画」を総集編として一つの小冊子にまとめた。

加茂市医師会報

裏表紙掲載画集

五十嵐隆夫画



2014.10.12
加茂川 魚屋のヤサ

NHK 大河ドラマ「西郷どん」

原作 林真里子 脚本 中園ミホ



西郷隆盛 （鈴木亮平）



勝 海舟 （遠藤憲一）
岩倉 具視（笑福亭鶴瓶）

明治維新の立役者・西郷隆盛を勇気と
実行力で時代を切り開いた「愛に溢れ
たリーダー」として描いた。

270 年続いた徳川幕府が諸外国の圧力
で開国を迫られる。列強国の植民地に
なりさがる危機的状況下で、天皇を頂
点とする近代国家へと大きく転換した
のが、まさに明治維新であった。



坂本 龍馬 （小栗旬）
桂 小五郎 （玉山鉄二）

西郷隆盛は、西南の役で新政府軍に敗れ自害した。彼がめざした新しい日本は、民が飢えることなく、権力に搾取されない、平等な世の中であつたように思う。世界が帝国主義、植民地主義の流れの中にあつて、彼が理想とする社会の実現には長い時間がかかったとおもうが、何時の日か「せごどん」が夢見た日本に成ることを願わずにはいられない。

ハドソン川の奇跡



チェズレイ・サインバーガー機長



ヴィンセント・ロンバルディ船長



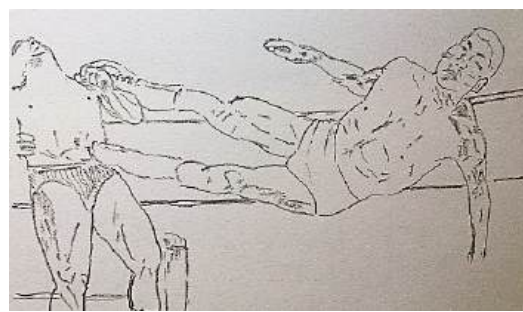
2009年1月15日午後3時30分 ラガーディア空港より飛び立ったUSエアウェイズ1549便（乗客150人、乗員5人）は、離陸から95秒後にバードストライク（鳥がエンジンに吸い込まれ、エンジントラブルを起こすこと）により、両側のエンジンが停止した。飛行不能となった機体を「乗客の生命を守ること」、「不時着による二次被害を避ける」ため、チェズレイ・サインバーガー機長は真下に見えるハドソン川への不時着水を決断した。残された時間はわずか5分間。旋回しながら、水面に11度の進入角度で機体を着水させた。たまたま近くを航行していた通勤フェリーのヴィンセント・ロンバルディ船長は直ちに乗客の救助に向かい、着水後4分20秒後に救出を開始した。真冬のハドソン川は水温0度、水上はマイナス6度であり、機体が水没すれば乗客の命は助からなかったであろう。不時着水を成功させた機長と機敏に救助活動を開始した船長の活躍が、乗員・乗客155人全員の命を救うことに繋がった。これがまさに「ハドソン川の奇跡」といわれる所以である。



ジャイアント馬場（1938/1/23 – 1999/1/31）身長 209cm、体重 135kg

ジャイアント馬場さんは、三条市で生まれました。子どもの頃から身長が高く、運動神経がよく野球が大好きでした。家は八百屋で毎朝 12km の道のりをリヤカーを引っ張り家業の手伝いをしていました。三条実業高時代、大相撲からの誘いもありましたが、読売ジャイアンツにスカウトされ 16 歳の若さで入団しました。2 軍で最優秀投手に 2 度も選ばれ将来を嘱望されていましたが、宿舍の風呂場で脳貧血を起こし転倒した際に左肘の靭帯を切断し投手生命が絶たれました。男になって故郷に錦を飾りたいという思いで、力道山の道場に入門し、死ぬほどの激しい練習を行い、21 歳でプロレスの本場アメリカに渡りました。渡米後 2 ヶ月でリングに上がり、大人気ものになりました。その 2 年後、暴漢に襲われ力道山が突然亡くなり、日本のプロレスが存亡の危機を迎える局面で、馬場さんは帰国を決意しました。馬場さんの活躍で、再び日本のプロレス人気が高まり、プロ野球を凌ぐ視聴率を獲得するようになりました。妻となった元子さんとは二人が若い時からの付き合いでしたが、馬場さんが 33 歳、元子さんが 31 歳で結婚しました。生涯 2 人で仲睦ましく暮らしました。

2016 年 9 月 5 日、故郷である新潟県三条市議会の 9 月定例会に於いて『ジャイアント馬場（馬場正平）を三条市名誉市民に決定する議案』が、国定勇人市長より提出され、市議会本会議にて全会一致で承認されました。10 月 15 日に三条市役所にて名誉市民顕彰が執り行われました。



石鎚山

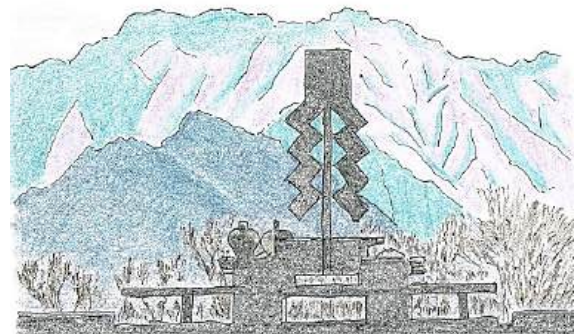
日本百名山のひとつ 最高峰は天狗岳
1982m（愛媛県）西日本で最も高い



石鎚山最高峰の天狗岳山頂に立つ



石鎚山には3つの鎖場がある



古くから人々の信仰を集めた聖なる山

古より人々の信仰を集めた聖なる山、石鎚山。

凍てつく断崖絶壁、死をも覚悟して挑む、厳しき修行の場。

ここで人は無我の境地を知り、山と一体となるという。

厳冬期には登る者がほとんどない石鎚山。

その鎖場に挑み、断崖絶壁に立つとき、

いったい何を思うのか？

(BS-TBS 「日本の名峰」より映像、文章引用)

わすれては不二かと思ふこれやこの伊予の高嶺のゆきの曙

西行法師（「日本百名山」 深田久弥より引用）

宮之浦岳

標高 1936m

屋久島の中央にそびえるのは、九州一の標高を誇る宮之浦岳。
神が宿る聖なる山、それを取り巻くように豊かな自然が息づく。



縄文杉 樹齢 2800 年～4000 年

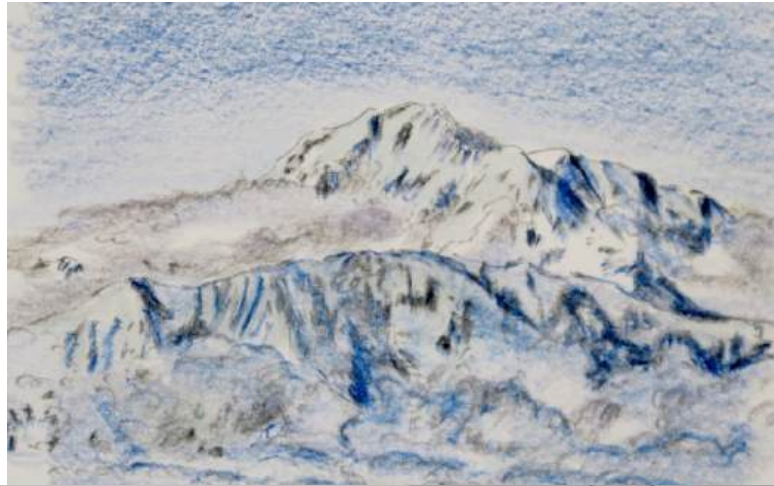
森の奥に潜むのは島の主、縄文杉だ。
悠久の時を屋久島で過ごしてきた。
緑豊かな屋久島だが、かつてこの島の
自然は厳しいものだった。

しかし、なぜ今、緑の樂園となったのか。
そこには島独自の命の営みがあった。
(BS-TBS 「日本の名峰」より映像、文章引用)

2018 年 6 月 16 日に手塚昭子先生がご逝去されました。2003 年 9 月 13～15 日に加茂市医師会旅行で屋久島に一緒に行きました。大きなカメラを首にかけて、元気よくベストショットを撮りまくっておられた姿が思い出されます。昭子先生、天国でも美しい写真を撮って楽しんで下さいね。

旅行参加者：青柳、五十嵐、薄木、小柳、小池（昭）、手塚（昭）、
長場（雅）、星野、本間、須田、今泉事務長、長場夫人、永井歯科医
院永井栄子先生、笹菊薬品長澤会長、斎藤前事務長 （敬称略）

植村直己が眠る北米最高峰「デリナ」 6190m



北極点犬ぞり単独到達に挑む植村直己



世界初五大陸最高峰登頂（エベレスト）



植村直己（1941-1984）



植村公子さん

明治大学山岳部入部当初は、よく転ぶことから「どんぐり」と呼ばれていた。抜群の体力と人一倍の努力家であり、富士山をホームグラウンドとして極寒登山の基礎を築きあげた。社交家ではなかったが、極北の地で暮らす住民と深く交流し犬ぞりの扱い方を学び、1979年世界初犬ぞりでの単独北極点到達に成功した。1984年2月マッキンリー（現デリナ）冬季単独登頂に成功（世界初）したが、その後遭難した。1984年4月国民栄誉賞授与。

くじゅう連山

最高峰は中岳(1791m) 大分県
愛唱歌「坊がつる賛歌」で有名



ミヤマキリシマが咲く大船山から坊がつるをのぞむ



登山道に見られる修験道場の名残りの祠 法華院温泉山荘は修験道場として開かれた

くじゅうの山の様々な表情を歌った芹洋子の「坊がつる賛歌」は、1978年にリリースされた。その年の紅白歌合戦でも披露されたこの歌の誕生には九州大学の学生3人が関わっている。1952年7月、小屋番の手伝いをしていた3人は、雨で停滞するなか、何となく口ずさんだ広島高等師範学校の「山男の歌」の歌詞に、九重を当てはめてみようと替え歌をつくった。完成した歌を九州山小屋の会、会報「山小屋」に発表。次第に広まっていき、たまたま阿蘇を訪ねてその歌を聴いた芹洋子がレコード化へと導いた。

(BS-TBS 「日本の名峰」より映像、文章引用)

大いなる師にちかづく 似たるかな 久住の山に引かるる心 与謝野 鉄幹

八甲田山

日本百名山のひとつ 青森市の南側にそびえ、十和田八幡平国立公園の一部をなす八甲田山という山はなく、大岳(1585m)、小岳(1478m)、高田大岳(1552m)など山脈として列になっている総称である



頂上に登ると 日本の国幅が見える「北の屋根」となっているのが、八甲田山である
棟方志功「八甲田山」より



棟方志功 (1903-1975) 青森県出身
独学で絵を学び、後に世界的な版画家となった
故郷の山、八甲田山をこよなく愛し、
幾度となく酸ヶ湯温泉に逗留し絵を描いた

女城主「直虎」は平成 29 年度の NHK 大河ドラマとして放映中である



寿桂尼（今川家）



盗賊の親分



小野但馬守政次



南禅和尚

天文 13 年（1544 年）遠江の国・井伊谷（いいのや）は、今川の支配下にありながら、戦国時代の激動を生き延びてきた。幼名「おとわ」後の「井伊直虎」は、女城主として、周りの人々の援助を受けながら、誰も思いつかない機転と確固とした決断力を武器に井伊家の家督を守りぬいた。徳川家康の庇護のもと、井伊家は近江彦根藩の藩主となり、天下統一後の徳川幕府を譜代大名として支えることになる。直虎から数えて 250 年後、「井伊直弼」は、徳川幕府の大老として重責を果たした。



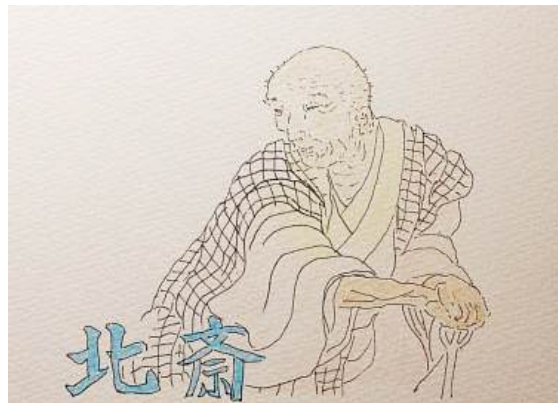
おとわ
（幼少期の直虎）



おとわ
（仏門の直虎）



次郎法師
（仏門の直虎）



「富士越龍図」北斎最期の絵

葛飾北斎は、90歳でこの世を去るまでに、3万点の作品を残した。

常に理想の絵を追求しながら描き続けた人物である。

1998年に米国「ライフ」誌が企画した「この1000年間に偉大な業績をあげた世界の人物100人」では、日本人でただ一人北斎だけが選ばれている。北斎の特筆すべき“才能”は、老境の域に達してから道を極めた“情熱”に尽きる。代表作『富嶽三十六景』が数え年で71歳前後の作品である。70歳といえは今の世でもほとんどの人が老け込む年齢だ。ところが北斎は、はるか昔の江戸の世でさらに高みを目指して目をギラつかせていた。現代人が見習うべき究極の「老人力」の持ち主といえる。

1849年4月18日、数え年90歳で息を引きとった。最後まで枯れることなく上を見続けた北斎の姿は、我々にとって人生の羅針盤といえる。(文はネットから一部引用)

天才棋士「藤井聡太」は負けず嫌いの泣き虫だった

図 1



図 2



図 3

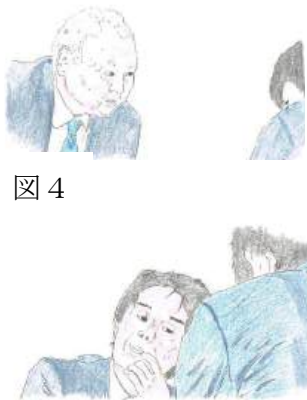


図 4



図 5

図 6



図 7

藤井聡太（2002 年生）、愛知県瀬戸市、名古屋大学教育学部附属中学校在学中（図 1）。5 歳から祖父に将棋を習い、2010 年にアマ初段で東海研修会に入会。数々の小学生の大会で優勝する。負けると人目をはばからず悔し涙を流して号泣した（図 2、3）。2012 年奨励会に入会。杉山昌隆七段の門下となる。2015 年に 13 歳 2 ヶ月、史上最年少記録で三段に昇進。2016 年三段リーグで 1 位となり 10 月 1 日付けでプロ棋士（四段）となる。14 歳 2 ヶ月でのデビューは、62 年ぶりに記録を更新する史上最年少。プロ第一戦目の相手は、62 歳 6 ヶ月年上の加藤一二三九段（図 4）。2017 年 6 月に歴代新記録のデビューから公式戦 29 連勝の快挙を遂げる。7 月 2 日竜王戦決勝トーナメント 2 回戦で佐々木勇気五段に負けた。佐々木は中盤、終盤に強い藤井を相手に、序盤に罠を仕掛ける奇襲戦法を練り上げ最後まで優勢に戦ったという。罠を仕掛けている佐々木五段（図 5）。対局中（図 7）に詰め手を確信した瞬間（図 6）さんまが司会する「東大生が選らぶ日本の天才ランキング」という番組で、「藤井聡太棋士」は第 1 位であった。ちなみに 2 位が「さんま」、3 位が「イチロー」。

スクリーンの妖精 「オードリー・ヘップバーン」



オードリー・ヘップバーンは、1929年5月4日に生まれオランダの裕福な家庭に育った。少女時代の夢はプロのバレリーナであったが、11歳の時（1940年5月）ナチスドイツのオランダ侵攻があり、その夢は断たれた。大戦後ロンドンに渡り下町の劇場で女優への道をめざしていた。一方、米国ハリウッドで全編海外ロケを行うという前代未聞の企画が持ち上がり、当時ハリウッドの巨匠であったウィリアム・ワイラーが監督に決まった。1948年当時の米国は「赤狩り」旋風が吹き荒れ、映画界でも例外ではなかった。当局の干渉がない海外でのロケは監督はじめ俳優、スタッフ一同大いに気合が入った。「ローマの休日」の男優は人気俳優のグレゴリー・ペックに決まったが、ヒロインのプリンセス役が未定であった。欧米各地でオーディションを行う中、ワイラーの眼に留まった女性が全く無名のヘップバーンであった。1952年の夏、3ヶ月間の撮影期間を経て、「ローマの休日」が完成した。アン女王と記者のラブストーリーであるが、ワイラーがこの映画に託したメッセージ（戦争や国家の在り方、人としての生き方など）は深いものがあった。オードリーは、第26回アカデミー賞 主演女優賞を受賞。その後の数多くの作品に主演したが、1968年（38歳）で映画界から退く。1度目の結婚は14年間続いたが、39歳で9つ若いアンドレア・トッティ（ローマ出身の医師）と再婚。翌年男子を出産。「ローマの主婦」として8年間生活した後、1976年（47歳）で映画界に復帰。「ロビンとマリアン」はじめ、4本の映画に出演した。1988年（59歳）でユニセフ特別大使となり、世界の紛争地帯を訪問。特にアフリカの発展途上国への援助活動に力を入れた。亡くなる4ヶ月前にソマリアを訪問したが、1993年1月20日逝去（享年63歳）。映画のシーンでアン女王が言った「自分の居場所は自分で決める」を実践した人生であった。

映画「風に立つライオン」

原作 さだまさし 監督 三池崇史



国境にある赤十字戦傷外科病院

1986 年大学病院で研修を終えた**島田航一郎**は、少年時代にあこがれたシュバイツァー博士が医療活動を行ったアフリカへ向かうことを決意した。そこはケニアのナイロビにある長崎大学熱帯医学研究所である。赴任から間もなく国境付近の赤十字戦傷外科病院に1ヶ月間手伝いに行くことになった。そこで目にしたのは、麻薬を何度も打たれ殺人兵士に仕立て上げられ、隣国スーダンの内戦で負傷した少年兵の姿であった。病院長のロビーに教えられたことは、「ここで行うことは傷の洗浄と切断だよ」 1年間のナイロビでの研究、診療期間が終了した時、島田はケニアに残ることを決意する。そして国境の赤十字病院で働くことを申し出た。医療活動の傍ら体も心も傷ついた少年兵達に勉強を教えたり、サッカーで遊んだり、クリスマスを楽しんだりと深く交流する。そして3年の時が過ぎ国境付近の村に往診に行く途中、坂道で車輪が埋まり立ち往生している時に、何者かに銃撃される。運転手は銃で応戦するが、島田は「自分は医師であるから、銃は撃てない」と反撃を拒む。手榴弾が投げ込まれ炸裂する。これがこの映画の縦の糸である。



懸命に負傷した少年兵士の治療をする

横の糸は、恋人の**秋島貴子**。離島の診療所を継ぐため、アフリカ行きを断る。島田の死後手紙が届き「かならず幸せになって下さい」とだけ書かれていた。島田と働いていた看護師**草野和歌子**は、病院の隣に孤児院を作り子ども達の自立を助けた。島田の生還を祈りつつ、10年後に癌で亡くなり、この地に埋葬された。少年兵の**ウドウング**は島田との交流の中で医師になりたいとおもうようになる。それから20年後、**ウドウング**は東日本大震災で壊滅状態の東北にトウモロコシの種を持って訪れる。その種はかつて島田に命を助けられたというケニアの老女から託されたものだった。瓦礫にたたずむ少年の姿にかつての自分を重ね合わせ、島田の口癖であった「だいじょうぶだ」という言葉をやさしく投げかける。

iPS 細胞（人工多能性幹細胞） Induce pluripotent stem cell



上からチーム中山（中山伸弥教授 高橋和利准教授 中川誠人講師 いずれも iPS 細胞研究所）
下は戸田口淳也教授で、進行性骨化性線維異形成症の治療法を iPS 細胞を使って研究中



ドルフ・イエーニッシュ
マサチューセッツ工科大学

マウスの鎌状赤血球貧血症の治療を
iPS 細胞を使って研究し成功した

マウス・バーニック
若き研究者

3 個の遺伝子を組み込んで神経細胞に分化
させる研究に成功

ジョージ・デイリー
ハーバード大学

精子を使った多能性幹細胞作成を試みた
が成功しなかった

山中は、1999 年（37 歳）に奈良先端科学技術大学院大学の助教授として自らの研究室を持ち、人工多能性幹細胞の作成を開始した。京都大の多田の研究（体細胞と ES 細胞を融合させると体細胞が初期化される）にヒントを得て、体細胞が初期化するために必要な遺伝子突き止める研究を進め、2006 年 6 月に初期化に必要な遺伝子 4 個を同定し、発表した。



情熱のシーラ「マドリード編」



情熱のシーラ「モロッコ編」

今月号の挿入画は、NHK 海外ドラマ「情熱のシーラ」です。
お針子として働いていた少女、シーラ・キローガが、数奇な運命に翻弄されながら、第二次世界大戦時のスペイン、モロッコ、ポルトガルと舞台を変えながらたくましく生きたさまを「ロマンス・ミステリー」タッチで描いています。



映画「瀬戸内少年野球団」の一コマから…

「瀬戸内少年野球団」—1984 年の作品、淡路島出身の阿久悠の自伝的小説をもとにした映画。敗戦直後の混乱の中で、翻弄される庶民を描いている。
夏目雅子と戦争で行方不明になった夫の郷ひろみとの再会シーンが感動的である。



バガン遺跡



仏塔



杏ちゃん

バガン(Bagan)遺跡は、ミャンマーにあり、カンボジアのアンコール・ワット、インドネシアのボロブドゥールとともに、世界三大仏教遺跡のひとつと称される。バガン遺跡は、16 平方マイルのエリア内にある。建造物の大多数は、西暦 1000 年代から 1200 年代に建てられたもので、当時のバガンは、最初のビルマ統一王朝であるパガン朝の都であった。1057 年、アノーヤター王は低地ビルマの僧の助けを借りて、上座部仏教の国教化を進め、上座部仏教の盛んなスリランカとも交流した。12 世紀から 13 世紀になると、スリランカやインド、カンボジアのアンコール朝やタイからの仏僧や学生を引きつけ、パガンは仏教研究の国際的な中心地となった。

(2016 年 8 月 24 日イタリア中部の地震が発生した。同日、ミャンマー中部にも地震が発生し、バガン遺跡も甚大な被害を受けた。)



密林に消えた巨大都市 アンコールワットの謎





田中角栄(1918-1993)



石原慎太郎(1932-)

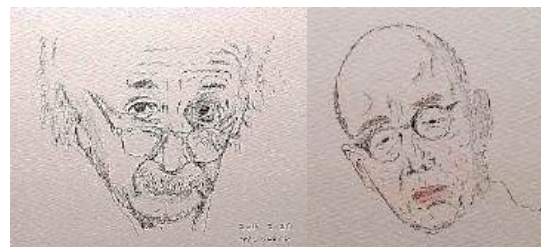
石原慎太郎が書いた「天才」がベストセラーとなっている。「田中角栄」について書いた著書であるが、内容は全て一人称で書かれている。従って、あたかも角栄が独白し、追想しているかのような文体となっている。生い立ちも学歴も育った環境も真逆な二人。共通点を探すなら、「アメリカ」からの制約を嫌うあまり、「アメリカ」に嫌われている人物であるということである。

若き日の慎太郎は角栄の金権政治姿勢を激しく攻撃した人であるが、ここに及んで角栄を天才的政治家として絶大な評価をした意図は知らない。角栄が行った最大の功績は全国に新幹線を走らせたことであり、最大の汚点はロッキード社から5億円もらったという贈収賄事件である。しかし、ロッキード事件は「アメリカ」が仕組んだ角栄失脚の罠であったことは、証拠はないが事実であろう。越後が生んだ日本の最も優れた総理大臣「田中角栄」が正当に再評価される日が来ることを期待したい。

アルベルト・アインシュタイン博士(1879-1955)

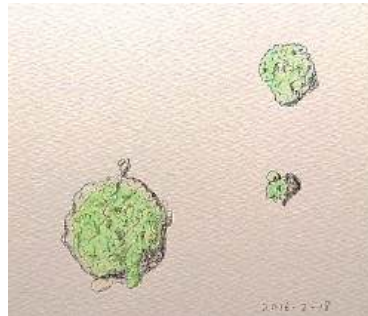
湯川秀樹博士(1907-1981)

科学者は、人類の幸福のために研究を行うべきである。その研究結果が人類にとって脅威であってはならない。科学者は自らの研究結果に責任がある。湯川秀樹博士は中間子の存在を予想し、その後宇宙線の中からその存在が証明され、1949年にノーベル物理学賞を授与された。しかし、中間子理論は、原子爆弾製造へと発展した。アルベルト・アインシュタインは、ユダヤ人迫害から逃れ米国に渡り、原爆製造に協力した。その原爆が人類史上初めて戦争に用いられ日本に投下された。後にこの二人は世界平和のために、科学者の立場から原爆廃絶運動に尽力した。





小保方晴子さん



STAP 細胞



若山照彦さん

「STAP 細胞は存在するか？」

「あの日」と題する小保方晴子氏の回想録が 2016 年 1 月 28 日に出版された。253 ページの前半は早稲田大学、東京女子医大、ハーバード大での活躍が紹介され、後半は理研での若山研究室における共同研究と笹井先生(故人)の指導の下に行われた「ネーチャー」への投稿論文作成へと続く。

検証実験で「STAP 現象の再現はできなかった」と結論付けられたが、「体細胞が多能性マーカーを発現する細胞に変化する現象」は確認されたと本文で小保方氏は断言している。「多能性の確認」の検証実験は成功しなかった。本来は若山氏がキメラマウスの作製で実証すべき部分であるが若山氏はこの検証実験には参加しなかった。

回想録を読み終えて感じたことは、猛スピードで一連の研究が進んでいったこと、大学院生、その後のポスドクが一人で行うに足る研究内容が多すぎると思った。私自身は移植の動物実験を行った経験は無いが、本文 P19 の終わりの 4 行目から P21 のはじめの 2 行目までに書かれている、若齢ラットの口腔粘膜採取後の口腔内縫合を行ったとされる部分については「本当だろうか？」と疑問が湧いた。研究を始めたばかりの大学院生が、若齢ラットの開口 1cm 幅から縫合針を使ってラットの口腔粘膜を縫えるだろうか？

回想録とはいえ、事実でないことを書いたとすれば全ての内容に疑いを抱くを得なくなり、「混沌の闇」に引き戻されることになる。



瀬戸内 寂聴(せとうち じゃくちょう)

1922年(大正11年)5月15日生、日本の小説家、天台宗の尼僧。俗名 晴美。
「作家ですから命のある限り、まだまだ書きたいと思います」



漫画家 手塚治虫 (1928-1989) 大阪帝国大学医学部卒



ミケランジェロ
(1475-1564)

「マリア像」

「私は母乳と一緒にノミと槌を飲み込んだ」



田中陽希 1983 年生まれ

NHK BS「グレートトラバース 日本百名山 ひと筆書き」で広く知られるようになる。日本百名山ひと筆書き 1964 年に出版された深田久弥随筆「日本百名山」で定められた 100 座を人力のみで繋ぐ。未だ陸上と海上の両方を人力のみで繋ぎ合わせた記録はなく、前人未達のアドベンチャーに挑んだ。



田中陽希氏は、現在群馬県みなかみ町に拠点を移し活動している。みなかみ町にある妹の歯科医院を受診した際、私がグレートトラバースの大ファンであることをきいて、色紙を書いて頂いた。



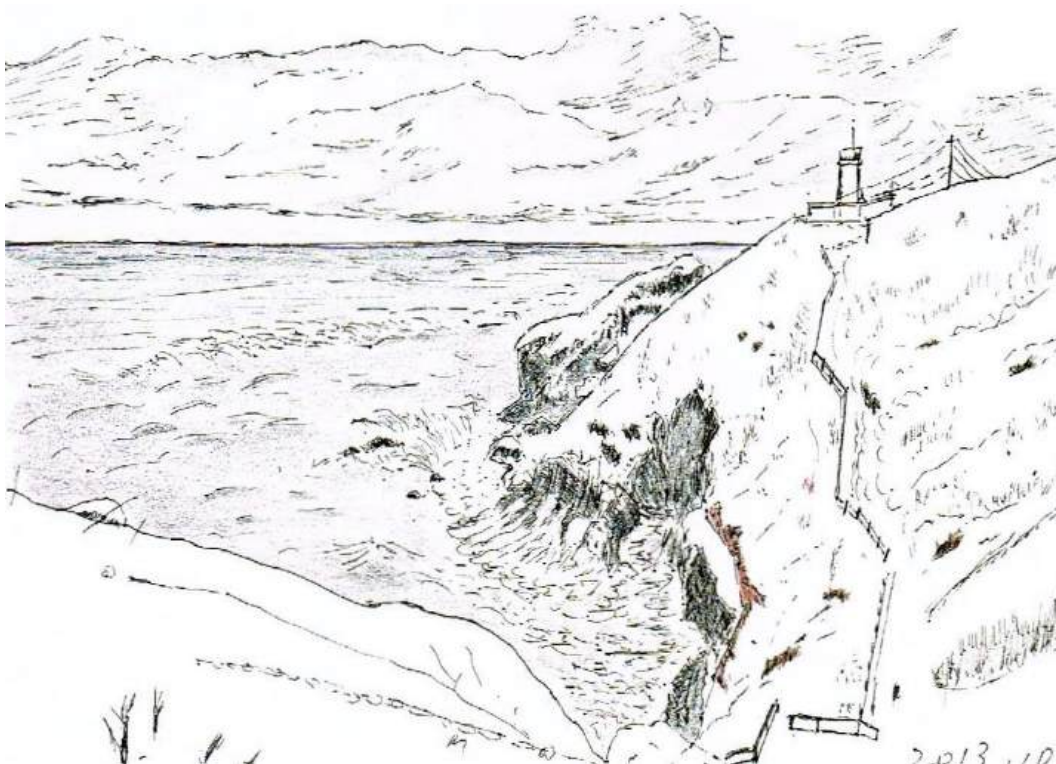


「風薫る春の護摩堂山」

田上中学校の学校検診に行く途中、車窓から護摩堂山がきれいに見えた
嘗て修験者が護摩を焚いたことから、この山の名前が付けられたときく

冬の角田岬灯台

(天野尚写真集より)





東麓の乗鞍高原から望む乗鞍火山の連なり



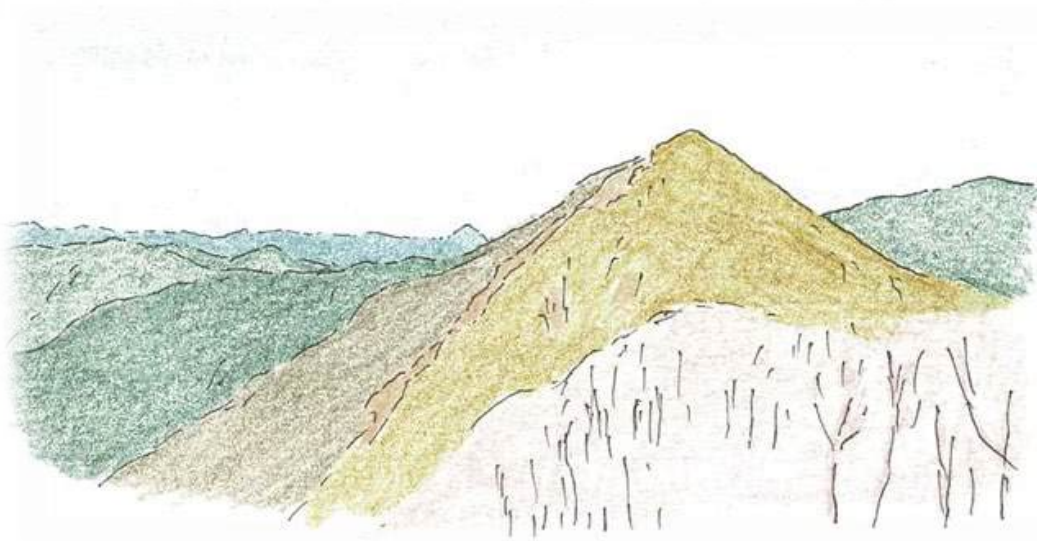
乗鞍高原の大カエデ



モルゲンロートに輝く乗鞍の主峰 剣ヶ峰 (3026m)

日本百名山

甲武信岳（こぶしだけ） 2460m



おそらく甲武信岳という山の存在を世間に広く教えたのは、この遭難事件だろう。あれはたしか大正5年(1916 年)であったから、まだ一般には登山が冒険とみなされていた。しかも5名の遭難者の4名が帝大(現東大)へ入ったばかりの前途有望な青年であったことが、一層騒ぎを大きくしたのだろう。一人だけが生き帰った。あとになって知ったが、帝大生の遭難は甲武信岳ではなく、そこへ登る破風山であった。密林中に道を失い、豪雨に叩かれて疲労死したのである。… 山の形は遠望して際立っている特徴があるわけではないが、三国に跨っているということは、連嶺上の突起にすぎない単純な山よりも、姿態が複雑である。甲武信岳から、千曲川、荒川、笛吹川、三つの源流が出ている。…

頂上に降った一滴は、千曲川に落ちて
信濃川になり日本海に入る。他の一滴は
荒川に落ちて大東京を貫流し東京湾に注ぐ。
更に次の一滴は笛吹川に落ちて富士川となり
太平洋のものとなる。…

(日本百名山 深田久弥より改変して引用)

(映像は TBS 日本の名峰より引用)



山頂直下の山小屋



谷川岳 「一ノ倉沢」



錦飾る岩峰 谷川岳 (1977m)

安達太良山 (1700m)



ミソハギの花が咲く檜原湖越しの安達太良山

あだたらの名は早くも万葉集に出ている。

東の国からみちのくへかかって、つまり現在の福島県へ入って、郡山から福島までの間で、汽車の窓から左手にあざやかにこの山が眺められる。雪のある時には、その姿は一層立派に私たちの眼に迫ってくる。昔の旅人がこれを見逃すはずはない。

その途中の二本松から眺めた安達太良山、それを歌った高村光太郎の詩が、この山の名を不朽にした。この詩人と絶対愛に結ばれた妻の智恵子は、二本松の作り酒屋に生まれた。彼女は東京にいと病気になる、故郷の実家に帰ると健康を回復するのが常であった。その妻のあどけない言葉を、詩人は歌った。 (深田久弥：日本百名山より)

智恵子は東京には空が無いといふ、
ほんとの空が見たいといふ。
：：：
智恵子は遠くを見ながら言ひ。
阿多多羅山の山の上に
毎日出てゐる青い空が
智恵子のほんとの空だといふ。

絶唱「樹下の二人」の一部に

あれが阿多多羅山、
あの光るのが阿武隈川。

：：：

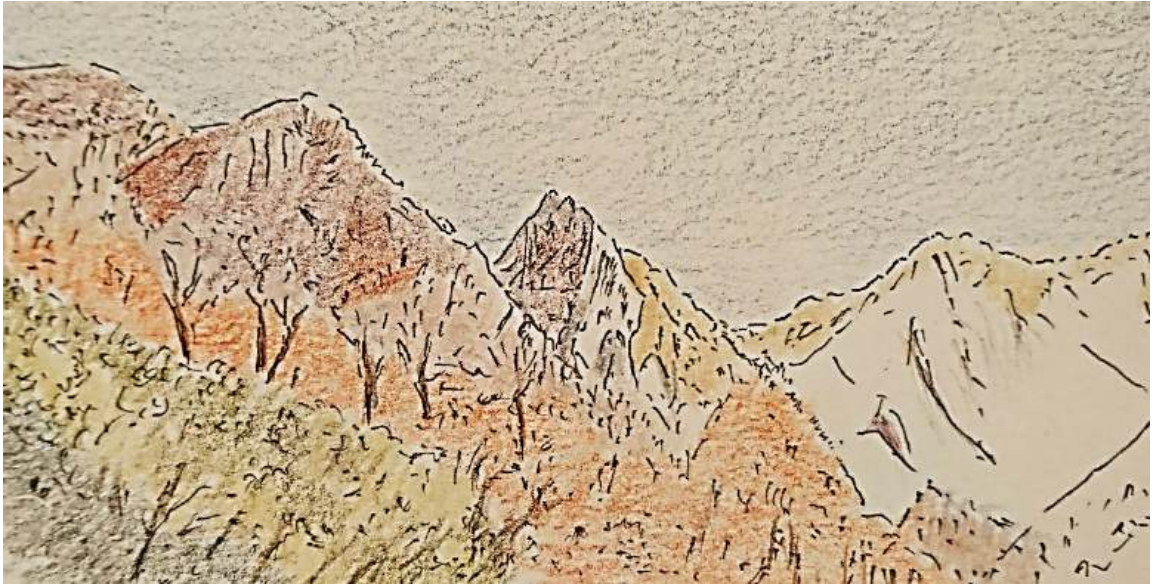
ここはあなたの生まれたふるさと
あの小さな白壁の点点があなたの
うちの酒庫。

それでは足をのびのびと投げ出して、
このがらんと晴れ渡った北国の
木の香に満ちた空気を吸はう。

：：：

あれが阿多多羅山、
あの光るのが阿武隈川。

雨飾山と深田久弥



雨飾山(あめかざりやま)は、新潟県と長野県の県境に位置する標高 1963mの山である。山全体が安山岩で形成されている。山頂からは、北アルプスから日本海、火打山など頸城山系まで 360 度を展望することができ、日本列島の成り立ちにかかわる地形観察も楽しめる。



深田久弥



深田久弥(1903～1971)は、石川県で生まれた。登山と文学を好む少年に育ち、1922年、19歳で東京の第一高等学校に入学した。東京帝国大学文学部在学中に出版社に勤める。北島八穂の投稿作品に心惹かれ、病身の彼女を青森から上京させた。彼女とは1929年から一緒に暮らし、1940年に入籍した。しかし、翌年、深田は知人の結婚披露宴の席で、高校時代に恋心を抱いていた女性、木庭志げ子に再会する。その年6月に志げ子と雨飾山に登るため、小谷温泉に滞在し天気の回復を待つ。深田は双耳峰の雨飾山を見上げ「左の耳は僕の耳、右ははしけやし君の耳」と口ずさんだ。(「はしけやし」とは、ああいとおしいの意)

不倫発覚から7年後、八穂は離婚に同意したが、深田が発表した小説は実は自分の創作だと暴露したため、深田は文壇から離れることになった。やがて登山と山の随筆に専念する事になったが、1964年、「日本百名山」の刊行として結実する。

北島八穂は、1903年、青森市で生まれた。東京の女学校に進学したが、病のため退学。青森に帰って療養中、小説を投稿し、それがきっかけで深田と知り合い一緒に暮らすようになる。深田は八穂の創作あるいは八穂との合作を自分の作品として発表し、小説家としての名声を得た。しかし、深田の不倫で裏切られた八穂。離婚に同意したのは、負けん気の強さから、「死ぬのを待たれてたまるか」という思いからだと言う。戦後八穂は自身の筆名で数多くの児童文学を書く。津軽弁の生き生きとした語り口とたくましく生きる登場人物の描き方は高く評価され、病に屈せず、78歳で亡くなるまで作品を書き続けた。代表作「鬼を飼うゴロ」 随筆集「津軽の雪」

槍ヶ岳 (3180m)



山頂直下の山小屋



播隆上人



山頂から富士山がみえる

今さら槍ヶ岳について語るのも愚かなくらい、周知の山である。三千米を越える高さと言ひ、颯爽とした鋭い形と言ひ、わが国の山の中で最もユニークな存在である。

富士山と槍ヶ岳は、日本の山を代表する二つのタイプである。一つは齊整なピラミッドで悠然と裾を引いた「富士型」であるに反し、他の一つは先鋭な鉾で天を突く「槍型」である。この二つの相対するタイプは、他の地方の山々に多くの「何々富士」や「何々槍」を生んだ。(深田久弥著「日本百名山」より引用)

江戸時代後期に生きた越中の念仏僧、播隆上人(1786～1840年)は、自ら荒れた登山道を整備し、笠ヶ岳を再興した。そのとき、東の空に超然とそびえる槍ヶ岳の姿を見て心を動かされる。「世の人の恐るる嶺の槍の穂も やがて登らん我に初めて」と詠み、槍ヶ岳開山を決意する。

文政9(1826)年、藪を開きながら槍の肩まで試登して下山。2年後に穂先に初登頂を果し、山頂に阿弥陀如来、観世音菩薩、文殊菩薩の三体の仏像を安置する。(BS-TBS 日本の名峰より引用)

乗鞍岳

白銀まとう雲上の樂園



モルゲンロートに輝く乗鞍の主峰 剣ヶ峰 (3026m)



東麓の乗鞍高原から望む乗鞍火山の連なり



乗鞍高原の大カエデ

長野県松本市と岐阜県高山市にまたがる乗鞍岳は、中央が凹んだ山容が馬の鞍のように見えることから、その名がついた。標高 3026m の剣ヶ峰を最高峰とする 23 の峰と、7 つの湖、8 つの平原から成る山岳地帯だ。標高 2700m 付近まで車で乗り入れできることから「日本一登りやすい 3000m 峰」として有名。だが、残雪期は、本格装備が必要な北アルプスの一座となる。

(BS-TBS 日本の名峰より引用)

幻のノーベル生理学・医学賞



市川厚一教授



山極勝三郎博士

(1863-1930 長野県上田市生れ)



ヨハネス・フィビゲル教授

2018 年のノーベル生理学・医学賞は、本庶佑先生が確立した「がん免疫療法」に対して授与された。しかし、100 年も前に人工的に発癌実験を行い、世界で最初に成功した研究者がわが国にいたことを忘れてはいけない。

東京大学病理学教室の山極勝三郎教授と市川厚一助手である。毎日ウサギの耳にコールタールを塗るという地味な作業を 8 年間にわたり継続した結果、遂にうさぎの耳に人工癌を発生させることに成功した。その研究成果を医学雑誌に発表し、千葉大学の追試実験でも同様な結果が確認され、その成果は世界に認められた。

山極教授が発表した 1 年程前に、寄生虫を使って、動物の胃粘膜を刺激し

たら、胃癌が発生したという研究結果を、コペンハーゲン大学のヨハネス・フィビゲル教授が発表した。

二人の画期的な人工癌の研究に対してノーベル生理学・医学賞が授与されると期待されたが、フィビゲル教授ひとりに授与された。落選の理由は、フィビゲル教授の発表が早かったこと、タールによる発癌は、英国では煙突掃除人の陰嚢癌が以前より知られていたからであったという。

その後、フィビゲル教授の発癌実験は、追試しても発癌せず、寄生虫がもっていた細菌によるものと分かり、ノーベル賞選考では世紀の大失態ということになった。

1969 年 8 月に映画「男はつらいよ」の第1作目が公開された

主演は渥美清、原作・監督は山田洋次で、第 49 作目となる「寅次郎ハイビスカスの花 特別編」1997 年 11 月まで続いた。寅次郎の原型は渥美清の幼少時代の体験談をもとに山田洋次が作り上げたといわれている。渥美清（1928-1996）は浅草のストリップ劇場の前座の役者からスタートしたが、肺結核を患い 26 歳から 2 年間結核療養所で過ごした。右肺切除術を施行され奇跡的に生還した。

「男はつらいよ」に描かれているテーマは、家族の人間関係であり、寅さんの熱烈な片思いである。全作品を通して寅さんはプラトニックラブということになっている。



妹さくらこと賠償千恵子



フーテンの寅こと「車寅次郎」

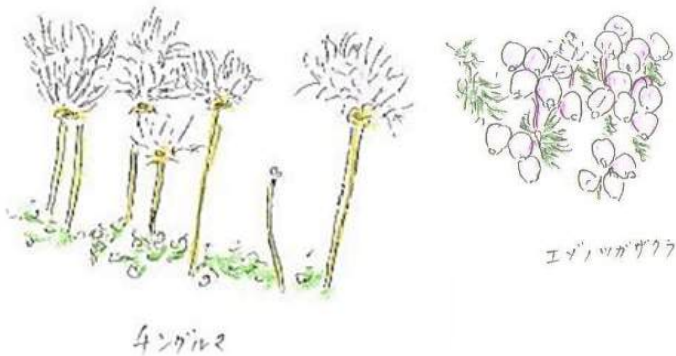
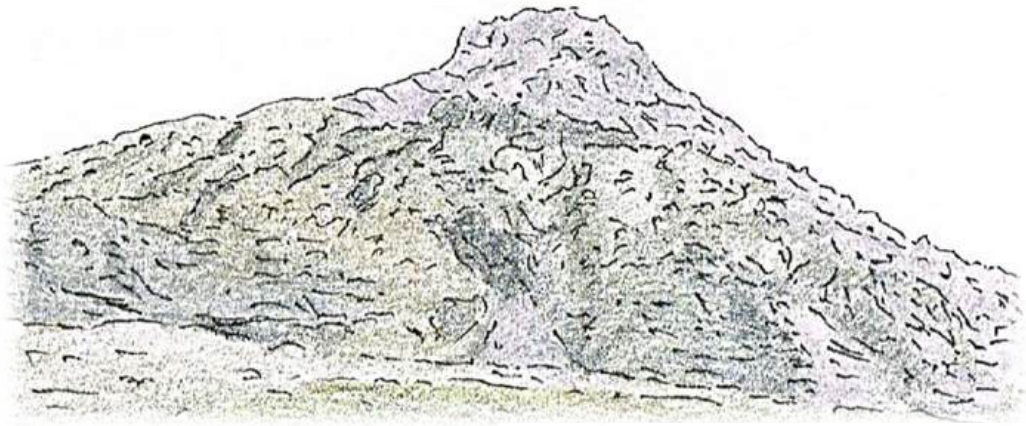


監督 山田洋次

私が大学 2 年生の時に第 1 作目が公開され、54 万 3 千人の観客動員数であったが、私もその数に入っていた。以後時々、映画館に足を運んだが、実際に観た数は 10 作品程度だった。渥美清が亡くなった年に全作品のビデオテープが発売されたので、購入して 30 本ほど観た。テキ屋稼業を生業としているので、渡世人的な言動が多いが、他人に対しては儒教的教えを諭すように語る場面が多い。

渥美清こと本名 田所康雄は、生涯私生活でも「渥美清」を演じて生きた俳優であり、1996 年国民栄誉賞を授与された。

羅臼岳 (1661 米)



国後島にある爺爺岳（チャチャダケ）1822 米

千島を失った今日、日本の東北端は知床になった。オホーツク海に向かって長く差し出したこの半島は、荒涼として僻地に憧れる人たちにまだ夢を残している。その知床の代表として羅臼岳を挙げるのは、決して不当ではあるまい。

羅臼はアイヌ語で「鹿、熊などを捕ると必ずここに葬ったため、その臓腑や骨のあった場所」という意だそうで、ラは「動物の内臓物」、ウシは「たくさんある所」を意味するという。ラウシと呼ぶのが正しく、古い地図には良牛（らうし）と書かれている。

ラウス平（たいら）は一面の匍松（はらばまつ）の褥で、その豊かな拡がりのはのんびりして美しい。季節にはお花畑になる。

羅臼岳の山頂からの展望を察することにしよう。まず東を望むと足下に国後島が浮び、その向うに太平洋が拡がって、遠く千島の列島が見える。西望すれば宇登呂港が眼下にあり、その先は茫々たるオホーツク海である。（深田久弥著 日本百名山より抜粋して引用）

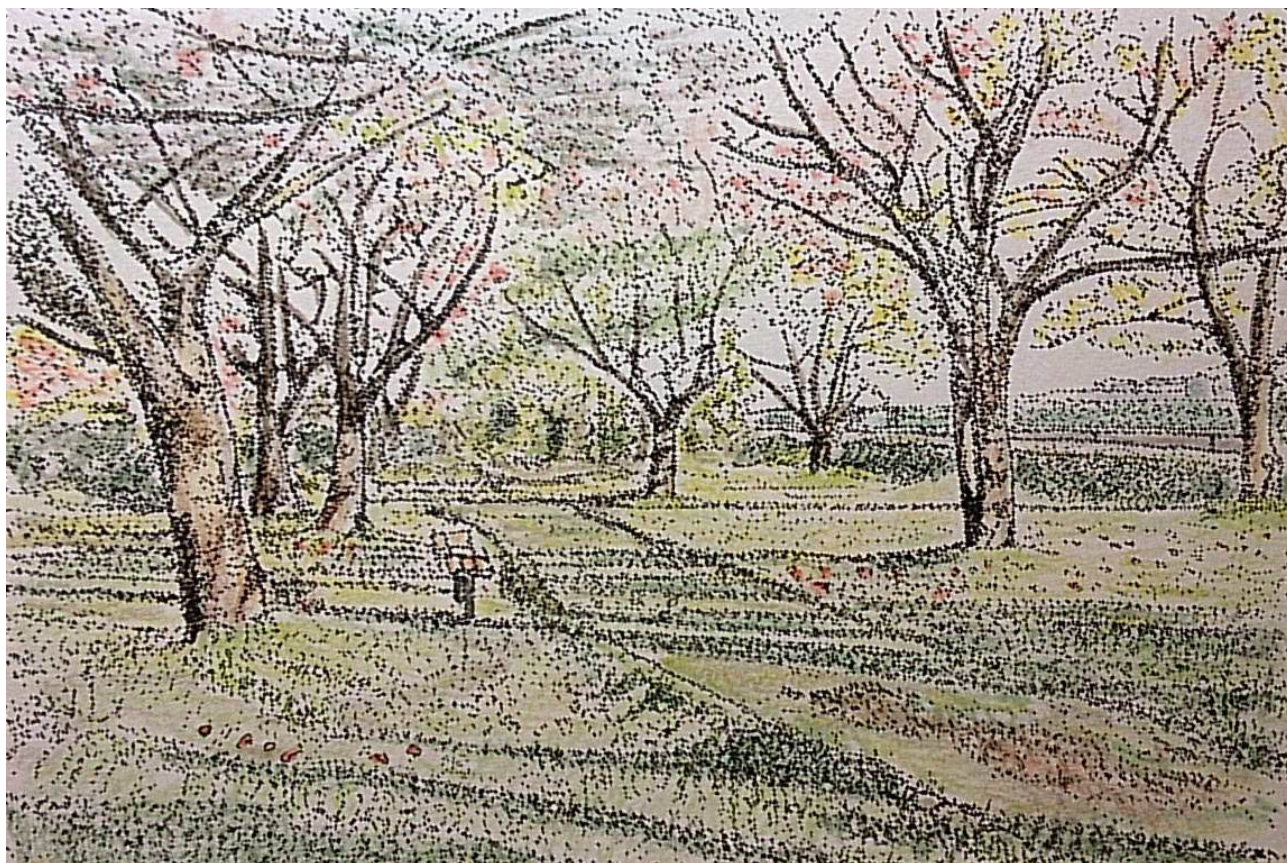
加茂市庁舎と粟ヶ岳



夕焼けと加茂市庁舎



石川公園 秋のさくら



初雪の加茂川河川敷



